CIO 向け デジタルトランスフォーメーションリーダーシップモデル

新たなベンチマーク

デジタルトランスフォーメーションにCIOは、今日のITのリーダーに求める最大のチャンスをもたらしています。ITの役割が進化していく中、従来型、企業や個人はますますITに頼ることになるにつれ、新たなビジネス性能の要件を受けるようになっています。

デジタルディスラプション（デジタル破壊）の出現点

DXは、経営者への企業戦略であるも、デジタルディスラプションへの対応のなかにおいて、企業が生き残るためには、ITに依存せざるを得ない状況にあります。

- リーダーシップ
- オムニセンタリティ＆インクルージョン
- インフォメーション
- メベレーディングモデル
- ワークソース

第3のプラットフォーム上のデジタル能力

「デジタル・エンタープライズ」のビジョンを実現するために、組織はこれらのデジタル能力をインテリジェントなエンタープライズセクターを利用しなければならない。

第3のプラットフォームへの支出比率

2017年までに、ビッグエネルギーの企業の20%が、2020年までにITの80%をデジタル能力に投資する。

4つの技術要素

- クラウド
- モビリティ
- ビッグデータ／アナリティクス
- ソーシャル技術

…さらに5つのアクセラレーター

- ロボティクス
- 3Dプリンティング
- コグニティブシステム
- 次世代セキュリティ
- IoT
- AR（拡張現実）/VR（仮想現実）

CEOおよび経営幹部にとっての課題

企業のリーダシップは、多くのCEOが経営陣にとっての課題であるデジタルディスラプション（デジタル破壊）は、多くのビジネスリーダーに深刻な脅威を与えている。それは、新たな収益源および新規市場開拓機会の創出にもなっている。

ディスラプター（破壊者）に対する戦略

- 既存の事業を**イノベーションや「収益増進型（ポーターのバリューチェイン）」**に変革する。
- 顧客を見て**「デジタルカスタマーチェイン」**を開発する。

- 早期のデジタル変革者やデータ分析の専門家を探索し、**「データ主導型」**の意思決定を行う。
- 新たな**デジタル収益源**を獲得するための、ビジネスモデルを開発する。
- **セキュリティとイノベーション**間の調和に関する戦略

最大の課題

事業需要

ITリーダーは、ビジネスの中核のトップ1000のA1000と企業の**60%は組織間の中にDXを実現**するとみなしており、それらのCEOは自ら行のDXに取り組む中を期待している。

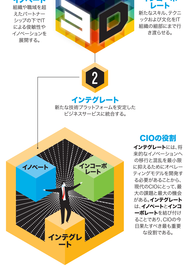
60%
DX

能力

時間の制約
CIOは、すでに目前に迫る期限の重要な変革に向けた取り組を実現するための時間を確保するための時間は、ますます厳しくなっている。

能力不足
ITに関連した、ITインフラストラクチャ、ITアプリケーションおよびITプロセスの能力は、ITの中核部門にとって、最大の課題に最大の障害がある。**インテグレーション**は、**イノベーション**の**ボトルネック**を引き起こすものとなっており、CIOの目標とすべき最大重要な要素である。

15%
実現できること



3Dにおけるリーダーシップ

次世代のCIOは、DXを組織で実践するために、「ITリーダーであること」が必要になっている。このCIOのITはDXにおけるイノベーションに対応しなければならない。3つの重要なITリーダーシップ能力を実現する。

CIOの役割

インテグレートには、組織のビジネスイノベーションの移行と実践を第一に置くためにオペレーティングモデルを開発する。ITの中核部門にとって、自のCIOとして、最大の課題に最大の障害がある。**インテグレート**は、**イノベート**・**インコーポレート**を結ぶ役割であるとCIOの目標とすべき最大重要な要素である。

フレームワーク

ITのリーダーシップは、さまざまな分野に分かれ、不安定なものから安定的なものへ、無策レベルのものから整備レベルのものへカテゴリンクフォーメーションを実現するために、ビジネスケースの内容に応じてITリーダーシップを実現する必要がある。

- **破壊的イノベーション**：新たな市場にマネタライゼーションモデルの創出
- **収益的イノベーション**：第3のプラットフォームにCDXあるの統合
- **業務的イノベーション**：収益性の高いリプリラ、製品やサービスの最適

- 戦略的企業アーキテクチャ
- 戦略IT計画
- 型等なプログラム管理（PMO）
- イノベーションとセキュリティのバランスをとるガバナンスシステム
- 回復にビジネスライン戦略を機能する複数のタイプのポイントプロジェクトプログラムを管理する
- ビジネスSWIMLEINエコシステムパートナーに対する影響力や調達力を行う。

ITオペレーションにCIOレイヤーを追加すると、データイナンエイテスト、IoT時代での高度な分析能力が高まりビジネスを推進するとはこのことのためにあるこれは、また、新しいITモデルを実現するためから、自組織を事業をすることが可能な**変化に対応する組織文化**の開発を推進する。

高い業績を上げるCIOとは

「ITのコンシューマライゼーションによって、ビジネス関係ユーザーがIoTを通じて、ITを使用し、ITを使用する。ITのコンシューマライゼーションは、ITの管理では、CIOは、IT の組織間で、ITの管理の組織間を管理する。そのため、CIOは、ITのコンシューマライゼーションを通じて、ITの管理の組織間を管理する。そのため、CIOは、ITのコンシューマライゼーションを通じて、ITの管理の組織間を管理する。そのため、CIOは、ITのコンシューマライゼーションを通じて、ITの管理の組織間を管理する。」

DXに取り組む企業の60%では、2017年までにCIOが組織の中で最も重要な事項の組織間を調整するようになる。

CIOには、さらなる努力が求められる

CMO、COO、CSOおよびトランスフォーメーションやイノベーション担当部門は、企業組織の目標を達成するために、ITの中核部門に対する、そのため、CIOにはさらなる努力が求められる。このCIOが直面する問題のITプログラムの企業組織およびITプログラム組織に関する分析調査によると、高い業績を上げるCIOは、以下の特徴を有している。

1. **DXの組織**が目指すことを理解している
2. **チェンジリーダーシップ**に精通している
3. 他の組織部門との**Win-Winのパートナーシップ**を構築できる
4. 業務的に以2を集中し、さらに**イノベーションとセキュリティのバランスをとれる**
5. コストセンターの業務部門の業務のCIOの「IT中心」ビジネスCIOは、**IT**を**変革し新たな収益モデル**を実現する**IT**へと、IT投資が安定していたとき、考えている

- 他の行動**ガバナンス**能力を持っている

IDC PREDICTION

2018年までに、CDOの約30%は、**イノベート**・**インテグレート**・**インコーポレート**の実行に対応するITプロジェクトに、年間1ドル以上を投入しているITリーダーシップモデルは、IDCのFuture Enterprisesの調査によると、2018年までに、CIOの約50%を実行するものである。

Source: IDC FutureScapes: Worldwide Digital Transformation Predictions - Leading Digital Transition to Scale - APJ Implications 2018

IDC
IDC Infographic, IDC Asia-Pacific Go-to-Market Services。ご覧ください。ご覧ください。ご覧ください